

2024（令和6）年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493100588	事業の開始年月日	令和2年10月1日
		指定年月日	令和2年10月1日
法人名	株式会社リビングプラットフォームケア		
事業所名	グループホーム ライブラリ横浜日野		
所在地	(〒234-0051) 横浜市港南区日野6-6-5		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	27名 ユニット数 3 ユニット
自己評価作成日	令和7年1月10日	評価結果 市町村受理日	令和7年4月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご入居者の方が安心・安全・安楽をモットーに、日々の生活を楽しんでいただきたいと思います。また、ご家族との連絡も密に行い良い関係の構築に努めております。ご入居者の方の笑顔は、働いている職員の笑顔と繋がって参りますので職員の働きやすい環境や、風通しの良い施設運営に努めて参ります。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和7年2月25日	評価機関 評価決定日	令和7年4月8日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、京浜急行・横浜市営地下鉄ブルーライン「上大岡」駅からバスに乗りし「公務員住宅入口」バス停で下車、徒歩5分ほどの閑静な住宅地にあり、周辺は丘陵地の緑豊かな環境です。令和2年10月開設の3階建て3ユニット27名定員のグループホームです。法人グループは北海道札幌市を本社として全国に介護・障がい・保育事業を展開しています。

<優れている点>

利用者の安心・安全なケアを心掛け支援をしています。職員は1人介助で無理をして危険な状態になってしまうことを避け、2人で介助をするなど安全に配慮し、トイレ誘導や入浴支援に取り組んでいます。理念「感謝と創造」を毎朝確認しています。事業所は職員間のコミュニケーションが良く、相談しやすい職場風土で、管理者とも気軽に相談できています。職員は利用者の口腔ケアの流れや順番などを自発的に変えたりして、より良い支援に努めています。毎月研修を実施し内容の充実を図り、職員の育成に取り組んでいます。介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修、認知症介護実践者研修などの資格取得の支援もしています。

<工夫点>

町内会に加入し、毎年敬老の日には会から祝いの饅頭などの記念品を受け取っています。毎月ボランティアが来所し、歌やハーモニカ、ギター演奏などを楽しんでいます。傾聴ボランティアも来てくれています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム ライブラリ横浜日野
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方が安心・安全・安楽な生活を過ごして頂く為、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図って参ります。	利用者の安心・安全なケアを心掛け支援をしています。職員は1人介助で無理をして危険な状態になってしまうことを避け、2人で介助をするなど安全に配慮し、トイレ誘導や入浴支援に取り組んでいます。理念「感謝と創造」を毎朝確認しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2023年8月に町内会の盆踊りに参加をたりましたが、今年は日程も合わず参加出来ませんでした。ただ近隣の方との交流はあり、梨やみかんの差し入れなど頂きました。	町内会に加入し、毎年敬老の日には会から祝いの饅頭などの記念品を受け取っています。毎月ボランティアが来所し、歌やハーモニカ、ギター演奏などを楽しんでいます。傾聴ボランティアも来てくれています。近隣の公園にドライブで出かけ抽選会などの地域行事に参加して楽しめるよう支援しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2024年度は具体的な行動はほとんど出来ておりません。散歩をしている時などに挨拶を交わす程度です。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	面会は面談室を利用し再開しております。その際にご家族からの要望などは受けております。運営推進会議に於いては、ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合い行っております。	今年度は感染症対策のため、対面方式の運営推進会議が実施出来ず、事業所内のメンバーで隔月に会議を開催しています。会議では期間中の行事報告や事故報告、職員の研修の取り組み状況の報告などを実施しています。次年度は対面方式で外部関係者の参加を得て開催する予定です。	今後、町内会々長・民生委員、地域代表、地域包括支援センター職員、利用者家族など外部関係者の参加を得て情報交換することが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要事案に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取っております。	港南区生活支援課職員は毎年来所し生活保護受給利用者の関係などで連携しています。高齢・障害支援課職員とは介護保険の切り替えや介護度の変更手続きなどで面談し相談しています。管理者は毎月エリア会議で法人傘下の各グループホームと情報交換をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な自社内のWEBでの研修や、検討会で身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めて頂く事を重視しております。	身体拘束廃止委員会は事業所の常勤職員が委員として参加して3ヶ月ごとに開催しています。マニュアル内容の確認などを実施し共通認識を深めています。職員研修は法人作成の動画を視聴し、確認テストを行い、レポートを提出しています。車いす利用時の注意すべき点などについて行動抑制にならない介護に取り組んでいます。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をして頂く様に話をしております。	虐待防止委員会も常勤職員で構成され、身体拘束廃止委員会と同日開催しています。距離があって利用者ケアが出来ない場面などでつい出てしまう咄嗟のスピーチロックについては、各フロアごとのユニット会議などで注意し、職員に支援のあり方を考えてもらっています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性ご希望があればその都度、ご提案させて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っています。ご不明な点等のご契約時や、事後のご連絡でご説明してご納得頂いております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者及びケアマネや職員がご本人・ご家族の意向をしっかりとくみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。	現在家族は利用者の居室で面会ができています。サービス計画書の更新や面会時に意見や要望を聞いています。家族からは菓子やフルーツの差し入れが多く、一旦預かって利用者に提供しています。以前は土日の面会を制限していましたが、家族からの要望で現在は土日の面会も実施しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。	管理者は意思疎通や相談のしやすい職場風土を作っています。職員は気軽に管理者と話が出来、相談しています。また、法人のエリア長もほぼ毎週来所して職員と話をしていきます。職員は利用者の口腔ケアの流れや順番などを自発的に変えたりしてより良い利用者支援に努めています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得支援を行い、取得後は職場内で活かせる環境づくりに努めています。また、直上のエリア長と密に連絡を取っており、職員が向上心を持って働けるように努めています。	有給休暇が取りやすく残業時間も常勤職員で月7～8時間程度と働きやすい職場環境です。今年度は有給休暇を取って海外旅行に出掛けた職員もいます。タブレットなどICT機器を導入し、業務の効率化と申し送りなどの漏れのない体制を作り支援に活かしています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	組織として運営面でしっかりと機能しており、問題はありません。社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。	社内研修カリキュラムを整備して毎月研修を実施しています。職員はテキストと配信映像で学び、レポートを作成し報告しています。介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修、認知症介護実践者研修、リーダー研修などの資格取得にも取り組み、費用助成を実施し支援しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内外研修や講習会の周知はあり、しっかりした取り組みを行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず面談を行っており（ケアマネジャーか看護師同行）しっかりと話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	⑮の項目の様に、しっかりとお話をお伺いする事でご家族様との関係性の構築には充分対応をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら可能な限り柔軟な対応を行い、事業所のサービスに繋げるなどの対応をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お出来になる事は少しでもお手伝いをお願いしております。食事の盛り付けや洗濯物のたたみ等を一緒に行っております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族の面会を面談室を利用して再開しております。また、ご家族からのお手紙や年賀状もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。	入居時のアセスメントシート作成時に家族から利用者のこれまでの生活歴や趣味などを把握するよう努めています。利用者からは墓参りに行きたいなどの希望があり、家族に伝えて支援しています。家族からは駐車場が広くて車での訪問に助かると喜ばれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れる様にお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。孤立している方がいましたら、居室替えなども含め実施する場合があります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご入居者の方がご逝去後も、お手紙を頂く等しております。ご要望があれば都度対応致します。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。	本人の希望や意向は生活歴や家族からの話も含め、日常の中で一人ひとりに丁寧に関わりながら話を聞いたり、行動や仕草などから汲み取っています。職員の気づきや把握したことは職員間で、会議、記録書類、打ち合わせなどで共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々のご生活の中でご本人やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。	3ヶ月に一度のケア会議で一人ひとりの状況を職員間で確認しあっています。日々の介護の記録、業務日誌、報告書、訪問医や薬剤師、看護師の所見、本人や家族の要望、職員意見などを踏まえ、介護計画に反映しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	タブレット端末への入力、手書きの記録、連絡帳等を活用して必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご要望があれば、最大限ご対応出来る様にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣が坂道なので、徒歩での外部への散歩は難しいですが、駐車場が広く、天気の良い日は積極的に駐車場への散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に協力医療機関・薬局へ切り替えて頂いております。	入居時に本人や家族に説明し、提携医療機関をかかりつけ医としています。月2回内科医、週1回歯科医が訪問しています。週2回事業所職員の看護師が健康管理と身体状況確認をしています。皮膚科など他の専門医受診は家族対応としています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設勤務の看護職員は週/2回となりますが、ご入居者の方の状況や特変は常に話し合いや書面での対応しており、訪問診療の看護師の方ともオンラインで繋がっており、都度、相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援致します。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医から話があった場合には看護師から連絡をさせて頂いております。必要時にはご家族様に来所して頂き、主治医から直接説明をさせて頂いております。	重度化した場合や看取りに関する指針及び事前確認書を整備し、「最後までその人らしく人生を送れるよう支援する」としています。時機に応じ、家族の気持ちや本人の状況を把握し、医療、看護、介護の連携を取りながら対応することとしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、しっかりと実践行動は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練や防火訓練を行い、有事に備えています。	年2回、参加できる入居者と一緒に避難訓練を行っています。消防署立ち合いの訓練も実施しています。事業継続計画を策定し対応できるようにしています。備蓄用食料、飲料水、衛生用品、カセットコンロなど3日分の倉庫や各フロアに備蓄しています。	夜間想定の実施の検討が期待されます。非常時に地域住民の協力が得られる仕組み作りや、自治会との連携強化への取り組みも期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の中で気付いた事は職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。	行動規範、法令遵守、プライバシー保護、個人情報保護、接遇について入職時及び定期的な研修を実施しています。日常業務の中で対応の仕方や場面に応じた言葉かけなどに配慮しています。個人情報記載書類は事務室の鍵付き書庫に保管し管理しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	こちらからの押し付けではなく、ご本人様の希望や意向も踏まえて出来る限り、自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	就寝時間・起床時間、入浴など声かけをさせて頂くなかで、気分が乗らなったり不穏気味の場合は時間を変えたりして、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせた好きな物をお召頂き、お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けや食器の後片付け等を職員と一緒に行って頂き、ご本人様の意識を高めて頂くようにしております。	提携業者から納入されるレシピ付き食品、食材で3食を準備し提供しています。ご飯と汁物は職員が調理しています。食前に皆で15分程度の口腔体操をしています。盛り付けや洗い物を手伝う人もいます。誕生会には職員の手作りホットケーキで祝っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量は記録をしており、箸の進まない方には声かけを行っております。また、咀嚼や嚥下の状態を把握して適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っております。ご自分で難しい方はお手伝いをして状況に応じて訪問歯科とも連携を取り、対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらバットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。	トイレでの排泄が出来るように一人ひとりの身体状況や排泄リズムを把握し、さりげなく声かけ、誘導、見守りをしています。本人が出来ることや心身の状況、気持ちを尊重し支援しています。夜間はおむつやポータブルトイレの利用もしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に必要に応じて下剤の調整を行っております。また朝食時にはヨーグルトを提供するなどして、自然な排便が出来るような取り組みもしております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿うように、また、しっかりした声掛けを行い、ご納得頂くようにしております。	原則週2回午前中の中の入浴です。脱衣所にエアコンがありヒートショックに対応しています。状況によりリフト機器を利用することもできます。入浴剤を使用し、リラックスして、職員とゆっくり話をしたり、コミュニケーションを図る良い時間となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人の状態を確認しながら、用量を減らせる様に医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内での塗り絵や音楽鑑賞は毎日、駐車場で家庭菜園などは季節ごとに行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	当該施設はベランダが東向きの為、朝日がしっかりと入って来ます。朝のベランダでの日光浴や、職員と一緒に広い駐車場への散歩等で気分転換を行い、楽しんで頂いております。	駐車場で外気浴や日光浴、歩行を積極的に行っています。コロナ禍や利用者の状況により買い物、外食、地域の催事参加などの機会は減少してきていますが、毎日体操や口腔体操を職員と一緒に楽しみながら体力の低下予防に努めています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額の金銭を自己管理で行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族からの手紙は都度、お渡ししお孫さんの写真などご覧になり、喜んでいらっしゃいます。必要があればご返信のお手伝いをしております。	/	
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	テレビの音やDVDの音等、状況に応じて調整を行い、ご利用者の方の不快にならない様に努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが、常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々にして対応していますが、仲間外れの状態は最大限避けるべく対応しております。 お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごし頂いております。	/	
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居者に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室内はご家族様ご本人様と相談され、配置を決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居者の方に合わせた物となっており、この施設内での生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。	/	

事業所名	グループホーム ライブラリ横浜日野
ユニット名	2階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	○ 3, 利用者の1/3くらいの
	4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3, たまにある
	4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	○ 3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と
	○ 2, 家族の2/3くらいと
	3, 家族の1/3くらいと
	4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	○ 3, たまに
	4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3, あまり増えていない
	○ 4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が
	○ 2, 職員の2/3くらいが
	3, 職員の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	○ 2, 家族等の2/3くらいが
	3, 家族等の1/3くらいが
	4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方が安心・安全・安楽な生活を過ごして頂く為、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図って参ります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2023年8月に町内会の盆踊りに参加をたりましたが、今年は日程も合わず参加出来ませんでした。ただ近隣の方との交流はあり、梨やみかんの差し入れなど頂きました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2024年度は具体的な行動はほとんど出来ておりません。散歩をしている時などに挨拶を交わす程度です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	面会は面談室を利用し再開しております。その際にご家族からの要望などは受けております。運営推進会議に於いては、ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合い行っております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要事案に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な自社内のWEBでの研修や、検討会で身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めて頂く事を重視しております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をして頂く様に話をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性ご希望があればその都度、ご提案させて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。ご不明な点等のご契約時や、事後のご連絡でご説明してご納得頂いております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者及びケアマネや職員がご本人・ご家族の意向をしっかりとくみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得支援を行い、取得後は職場内で活かせる環境づくりに努めています。 また、直上のエリア長と密に連絡を取っており、職員が向上心を持って働けるように努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	組織として運営面でしっかりと機能しており、問題はありません。 社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内外研修や講習会の周知はあり、しっかりした取り組みを行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず面談を行っており（ケアマネジャーか看護師同行）しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	⑮の項目の様に、しっかりとお話をお伺いする事でご家族様との関係性の構築には充分対応をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら可能な限り柔軟な対応を行い、事業所のサービスに繋げるなどの対応をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お出来になる事は少しでもお手伝いをお願いしております。食事の盛り付けや洗濯物のたたみ等を一緒に行っております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族の面会を面談室を利用して再開しております。また、ご家族からのお手紙や年賀状もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れる様にお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。孤立している方がいましたら、居室替えなども含め実施する場合があります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご入居者の方がご逝去後も、お手紙を頂く等しております。ご要望があれば都度対応致します。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々のご生活の中でご本人やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	タブレット端末への入力、手書きの記録、連絡帳等を活用して必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご要望があれば、最大限ご対応出来る様にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣が坂道なので、徒歩での外部への散歩は難しいですが、駐車場が広く、天気の良い日は積極的に駐車場への散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に協力医療機関・薬局へ切り替えて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設勤務の看護職員は週/2回となりますが、ご入居者の方の状況や特変は常に話し合いや書面での対応をしており、訪問診療の看護師の方ともオンラインで繋がっており、都度、相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援致します。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医から話があった場合には看護師から連絡をさせて頂いております。必要時にはご家族様に来所して頂き、主治医から直接説明をさせて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、しっかりと実践行動は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練や防火訓練を行い、有事に備えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の中で気付いた事は職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	こちらからの押し付けではなく、ご本人様の希望や意向も踏まえて出来る限り、自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	就寝時間・起床時間、入浴など声かけをさせて頂くなかで、気分が乗らなったり不穏気味の場合は時間を変えたりして、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせた好きな物をお召頂き、お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けや食器の後片付け等を職員と一緒に行って頂き、ご本人様の意識を高めて頂くようにしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量は記録をしており、箸の進まない方には声かけを行っております。また、咀嚼や嚥下の状態を把握して適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っております。ご自分で難しい方はお手伝いをして状況に応じて訪問歯科とも連携を取り、対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらバットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に必要に応じて下剤の調整を行っております。また朝食時にはヨーグルトを提供するなどして、自然な排便が出来るような取り組みもしております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿うように、また、しっかりした声掛けを行い、ご納得頂くようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人の状態を確認しながら、用量を減らせる様に医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内での塗り絵や音楽鑑賞は毎日、駐車場での家庭菜園などは季節ごとに行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	当該施設はベランダが東向きの為、朝日がしっかりと入って来ます。朝のベランダでの日光浴や、職員と一緒に広い駐車場への散歩等で気分転換を行い、楽しんで頂いております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額の金銭を自己管理で行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族からの手紙は都度、お渡ししお孫さんの写真などご覧になり、喜んでいらっしやいます。必要があればご返信のお手伝いをしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	テレビの音やDVDの音等、状況に応じて調整を行い、ご利用者の方の不快にならない様に努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが、常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々にして対応していますが、仲間外れの状態は最大限避けるべく対応しております。 お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごし頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居者に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室内はご家族様をご本人様と相談され、配置を決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居者の方に合わせた物となっており、この施設内でのご生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。		

事業所名	グループホーム ライブラリ横浜日野
ユニット名	3階

V アウトカム項目	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)
	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)
	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)
	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)
	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方が安心・安全・安楽な生活を過ごして頂く為、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図って参ります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2023年8月に町内会の盆踊りに参加をたりましたが、今年は日程も合わず参加出来ませんでした。ただ近隣の方との交流はあり、梨やみかんの差し入れなど頂きました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2024年度は具体的な行動はほとんど出来ておりません。散歩をしている時などに挨拶を交わす程度です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	面会は面談室を利用し再開しております。その際にご家族からの要望などは受けております。運営推進会議に於いては、ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合い行っております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	必要事案に関しましては横浜市、港南区のご担当者と密に連絡を取っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な自社内のWEBでの研修や、検討会で身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらう様に努めております。また、コンプライアンスの重要性の理解度も深めて頂く事を重視しております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為をしていないか、を振り返りながら行動・対応をして頂く様に話をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性ご希望があればその都度、ご提案させて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時はしっかりと重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。ご不明な点等はご契約時や、事後のご連絡でご説明してご納得頂いております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者及びケアマネや職員がご本人・ご家族の意向をしっかりとくみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や個々の面談、日々の日常会話で意見を聞く機会を設けております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得支援を行い、取得後は職場内で活かせる環境づくりに努めています。 また、直上のエリア長と密に連絡を取っており、職員が向上心を持って働けるように努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	組織として運営面でしっかりと機能しており、問題はありません。 社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内外研修や講習会の周知はあり、しっかりした取り組みを行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず面談を行っており（ケアマネジャーか看護師同行）しっかりと話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	⑮の項目の様に、しっかりとお話をお伺いする事でご家族様との関係性の構築には充分対応をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら可能な限り柔軟な対応を行い、事業所のサービスに繋げるなどの対応をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お出来になる事は少しでもお手伝いをお願いしております。食事の盛り付けや洗濯物のたたみ等を一緒に行っております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族との良い関係性の維持に努め、ご本人の日々の情報や連絡事項を密に行い、ご本人がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族の面会を面談室を利用して再開しております。また、ご家族からのお手紙や年賀状もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れる様にお手伝いをしております。テーブルや椅子の配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。孤立している方がいましたら、居室替えなども含め実施する場合があります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご入居者の方がご逝去後も、お手紙を頂く等しております。ご要望があれば都度対応致します。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	各フロアでご入居者の方々の状態把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々のご生活の中でご本人やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	タブレット端末への入力、手書きの記録、連絡帳等を活用して必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご要望があれば、最大限ご対応出来る様にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣が坂道なので、徒歩での外部への散歩は難しいですが、駐車場が広く、天気の良い日は積極的に駐車場への散歩を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に協力医療機関・薬局へ切り替えて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設勤務の看護職員は週/2回となりますが、ご入居者の方の状況や特変は常に話し合いや書面での対応をしており、訪問診療の看護師の方ともオンラインで繋がっており、都度、相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援致します。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医から話があった場合には看護師から連絡をさせて頂いております。必要時にはご家族様に来所して頂き、主治医から直接説明をさせて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的な訓練は行えていませんが、発生時に行うべき行動把握は出来ており、しっかりと実践行動は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練や防火訓練を行い、有事に備えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の中で気付いた事は職員に対し注意を行い、入居者の方の尊厳を守るべく対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	こちらからの押し付けではなく、ご本人様の希望や意向も踏まえて出来る限り、自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	就寝時間・起床時間、入浴など声かけをさせて頂くなかで、気分が乗らなったり不穏気味の場合は時間を変えたりして、臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせた好きな物をお召頂き、お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けや食器の後片付け等を職員と一緒に行って頂き、ご本人様の意識を高めて頂くようにしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量は記録をしており、箸の進まない方には声かけを行っております。また、咀嚼や嚥下の状態を把握して適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っております。ご自分で難しい方はお手伝いをして状況に応じて訪問歯科とも連携を取り、対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらバットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便困難な方を毎日把握して、水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に必要に応じて下剤の調整を行っております。また朝食時にはヨーグルトを提供するなどして、自然な排便が出来るような取り組みもしております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	状況によっては難しいですが、なるべくご本人様の希望に沿うように、また、しっかりした声掛けを行い、ご納得頂くようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人の状態を確認しながら、用量を減らせる様に医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内での塗り絵や音楽鑑賞は毎日、駐車場での家庭菜園などは季節ごとに行っております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	当該施設はベランダが東向きの為、朝日がしっかりと入って来ます。朝のベランダでの日光浴や、職員と一緒に広い駐車場への散歩等で気分転換を行い、楽しんで頂いております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしておりません。どうしても金銭所持をご希望される方には少額の金銭を自己管理で行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族からの手紙は都度、お渡ししお孫さんの写真などご覧になり、喜んでいらっしやいます。必要があればご返信のお手伝いをしております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	テレビの音やDVDの音等、状況に応じて調整を行い、ご利用者の方の不快にならない様に努めております。室内温度や照明の明るさも個人差はありますが、常に皆様に声掛けを行い快適な空間の提供に努めております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、考慮して行っております。気の合う方々にして対応していますが、仲間外れの状態は最大限避けるべく対応しております。 お一人になりたい時はご自身の居室でお過ごし頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居者に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室にはご家族様をご本人様と相談され、配置を決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアでテーブルの配置やソファの位置も違います。各フロアのご入居者の方に合わせた物となっており、この施設内でのご生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。		

2024年度

事業所名 ライブラリ 横浜日野

作成日： 2025 年 4月 27日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今後、町内会会長・民生委員、地域代表、地域包括支援センター職員、利用者家族など外部関係者の参加を得て情報交換することが期待されます。	対面方式での外部関係者の参加を得た運営推進会議を開催する。	まず、地域包括支援センターの方に相談し、町内会や民生委員の方に参加していただけるよう、ご指導いただく。	6ヶ月
2	35	夜間想定 of 訓練実施の検討が期待されます。非常時に地域住民の協力が得られる仕組みづくりや自治会との連携強化への取り組みも期待されます。	年2回の訓練のうち、1回は夜間想定 of 訓練を行う。地域住民の協力が得られる仕組みづくり、自治会との連携強化に取り組む。	消防署へ相談し、夜間想定 of 訓練の方法について指導して頂く。非常時の地域住民の協力について、町内会の方に相談し、町内会の防災担当の方と相談していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月